

PAT-NO: JP403082418A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03082418 A
TITLE: DRYING MACHINE
PUBN-DATE: April 8, 1991

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
TANOOKA, HIKONA
HIBINO, MINORU

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD N/A

APPL-NO: JP01220817
APPL-DATE: August 28, 1989

INT-CL (IPC): A47K010/48

ABSTRACT:

PURPOSE: To blow out warm wind giving always a comfortable feeling out of a blowout hole by furnishing an aromatic member on the wind path produced by a fan, and thereby adding aroma to the air inhaled from a suction hole.

CONSTITUTION: A suction hole 1a is formed in the upper part of the front of a dryer body 1, and an aromatic member 2 is set on a wind path inside of this suction hole 1a. Below the suction hole 1a a plurality of blowout holes 1b are formed in vertical arrangement, and an electric heater 3 is arranged inside of them, and a fan 4 is installed behind the heater 3. The aromatic member 2 is made by impregnating a fiber mat with fragrant components, in the form of a porous plate or honeycomb to sink the air resistance and raise the

fragrancy.

When the power switch of the dryer is put on, the heater 3 and fan 4 operate to blow out warm wind, and at the same time, air is inhaled from the suction hole

1a. This air is given aroma when penetrates the aromatic member 2 to become a

warm wind equipped with comfortable feeling, and blows out from the blowout

holes 1b toward the inside of the room.

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A) 平3-82418

⑤ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)4月8日

A 47 K 10/48

6654-2D

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑭ 発明の名称 乾燥機

⑮ 特 願 平1-220817

⑯ 出 願 平1(1989)8月28日

⑰ 発 明 者 田 野 岡 彦 己 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
⑱ 発 明 者 日 比 野 稔 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地
⑳ 代 理 人 弁理士 宮井 暎夫

明 細 書

1. 発明の名称

乾燥機

2. 特許請求の範囲

(1) 乾燥機本体に吸気口を設け、前記乾燥機本体の前面に複数の吹出口を縦並列し、これらの吹出口の内側に電熱ヒータを配設するとともに、前記吹出口に向けて送風するファンを設けた乾燥機において、前記ファンによって生じる風路中に芳香部材を設置したことを特徴とする乾燥機。

(2) 前記芳香部材の近傍に吸気を促進するための補助ファンを設けた請求項(1)記載の乾燥機。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、脱衣室等において濡れた体を乾燥させるのに用いる乾燥機に関するものである。

(従来技術)

従来、一般家庭等において風呂上がり等の後に体を乾かす乾燥機として、乾燥機本体の前面上部に吸気口を設け、吸気口の下方に複数の吹出口を

縦並列し、各吹出口の内側に電熱ヒータおよびファンを配設したものがある。電熱ヒータおよびファンを作動させると、吸気口から空気が吸引され、この空気は電熱ヒータで温められた後に吹出口から温風として吹き出されていた。

(発明が解決しようとする課題)

しかし、この構造では、吹出口から吹き出された空気を吸気口から吸引して再び吹出口から吹き出すことにより循環使用していたので、ある程度使用している間に空気に異臭が付いて汚れ、吹出口からの温風が当たると不快感を感じるがあった。

したがって、この発明の目的は、常に爽快感のある温風を吹き出すことができる乾燥機を提供することである。

(課題を解決するための手段)

この発明の請求項(1)の乾燥機は、乾燥機本体に吸気口を設け、前記乾燥機本体の前面に複数の吹出口を縦並列し、これらの吹出口の内側に電熱ヒータを配設するとともに、前記吹出口に向けて送

風するファンを設けた乾燥機において、前記ファンによって生じる風路中に芳香部材を設置したことを特徴とするものである。

また、請求項(2)の乾燥機は、前記芳香部材の近傍に吸気を促進するための補助ファンを設けたものである。

(作用)

この発明の請求項(1)の構成によれば、ファンによって生じる風路中に芳香部材を設けたので、吸気口から吸い込んだ空気に芳香を付与することができ、常に爽快感のある温風を吹出口から吹き出すことができる。

また、請求項(2)の構成によれば、芳香部材の近傍に補助ファンを設けたので、芳香部材を設けたことにより低下した吹出口の吹き出し強さを補うことができる。

(実施例)

この発明の一実施例を第1図に基づいて説明する。

乾燥機本体1の前面上部には吸気口1aが形成

れ、爽快感のある温風となって各吹出口1bから室内側に吹き出される。

この実施例の構成によれば、吸気口1aの近傍に芳香部材2を設置したので、吸気口1aから吸い込んだ空気に芳香を付与した状態で吹出口1bから温風として吹き出すことができる。しかも、芳香部材2を、吸気口1aの近傍のかつ顔面位置に相当する吹出口1bに設置した場合には、芳香が付与された温風を顔面部分に集中して吹き出すことができるので、芳香部材2の効率的な使用を図ることができる。

なお、この発明の他の実施例として第2図に示すものがある。この例は、芳香部材2の近傍に補助ファン5を設けたものである。

この実施例の構成によれば、芳香部材2を設けたことにより生じた空気抵抗のために吹出口1bからの吹き出し強さが低下するのを補助ファン5により防止することができる。したがって、吹出口1bに設けたファン4の負荷が増大するのを防止することができる。

してあり、この吸気口1aの内側の風路内には芳香部材2がセットしてある。吸気口1aの下方には上下方向に複数の吹出口1bが形成してある。各吹出口1bの内側には電熱ヒータ3が配設されており、各電熱ヒータ3の後方にはファン4が設けてある。

芳香部材2は、繊維マットに香り成分を含浸させたもので、空気抵抗を下げると同時に放香率を高めるために多孔板状やハニカム状に形成されている。この芳香部材2は、取り替えが容易に行えるように、また、垂れ下がるのを防止するために網状または格子状のケース(図示せず)に収納した状態で設置してある。設置箇所は、吸気口1aの近傍以外に、顔面部分と対向する吹出口1bのルーバ等に設けてもよい。

この実施例による動作を説明する。乾燥機の電源スイッチ(図示せず)をオンにすると、電熱ヒータ3およびファン4が作動して温風を吹き出すと同時に、吸気口1aから空気が吸引される。この空気は芳香部材2を透過した際に芳香が付与さ

(発明の効果)

この発明の請求項(1)の乾燥機によれば、ファンによって生じる風路中に芳香部材を設けたので、吸気口から吸い込んだ空気に芳香を付与することができ、常に爽快感のある温風を吹出口から吹き出すことができる。

また、請求項(2)の乾燥機によれば、芳香部材の近傍に補助ファンを設けたので、芳香部材を設けたことにより低下した吹出口の吹き出し強さを補うことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例の断面図、第2図はこの発明の他の実施例の部分断面図である。

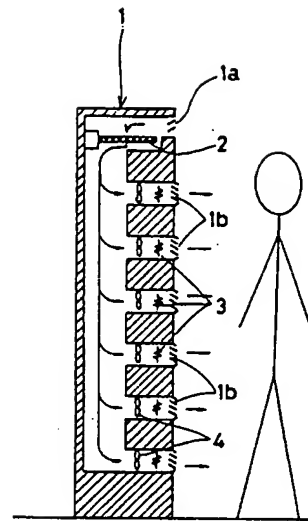
1…乾燥機本体、1a…吸気口、1b…吹出口、2…芳香部材、3…電熱ヒータ、4…ファン、5…補助ファン

特許出願人 松下電工株式会社

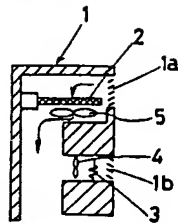
代理人 弁理士 宮井 咲夫

弁理士
印

第 1 図



第 2 図



- 1…送風機本体
- 1a…吸気口
- 2…発熱ヒータ
- 3…電熱ヒータ
- 4…ファン
- 5…補助ファン